

ノリ海況速報 第4報 (2024-4)

令和6年11月8日発行
 千葉県水産総合研究センター
 東京湾漁業研究所
 千葉県農林水産技術会議

資料 ノリ海況調査 (ふさなみ) 11/4 内房, 11/6 内湾

【 水温・塩分の状況 】

- 表層水温は内湾北部が19.8~19.9℃, 盤洲周辺が20.0~20.3℃, 富津周辺が20.4~20.9℃でした。表層塩分は内湾北部が30.2~31.7, 盤洲周辺が31.7~32.3, 富津周辺が32.0~33.1でした(図1)。
- 内湾北部の表層水温は20℃以下に低下しましたが, 盤洲周辺や富津周辺では20℃台となっており, 今後の気温の低下が待たれる状況です。
- 沖合水(高水温, 高塩分)のノリ漁場への波及はみられませんでした(図1, 2)。

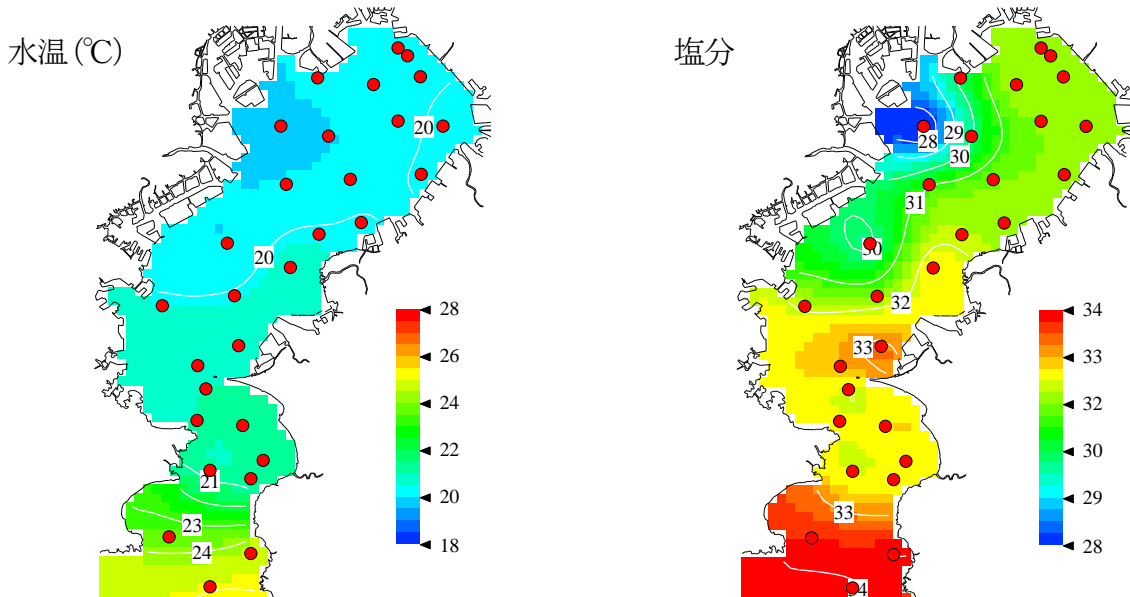


図1 表層の水温・塩分

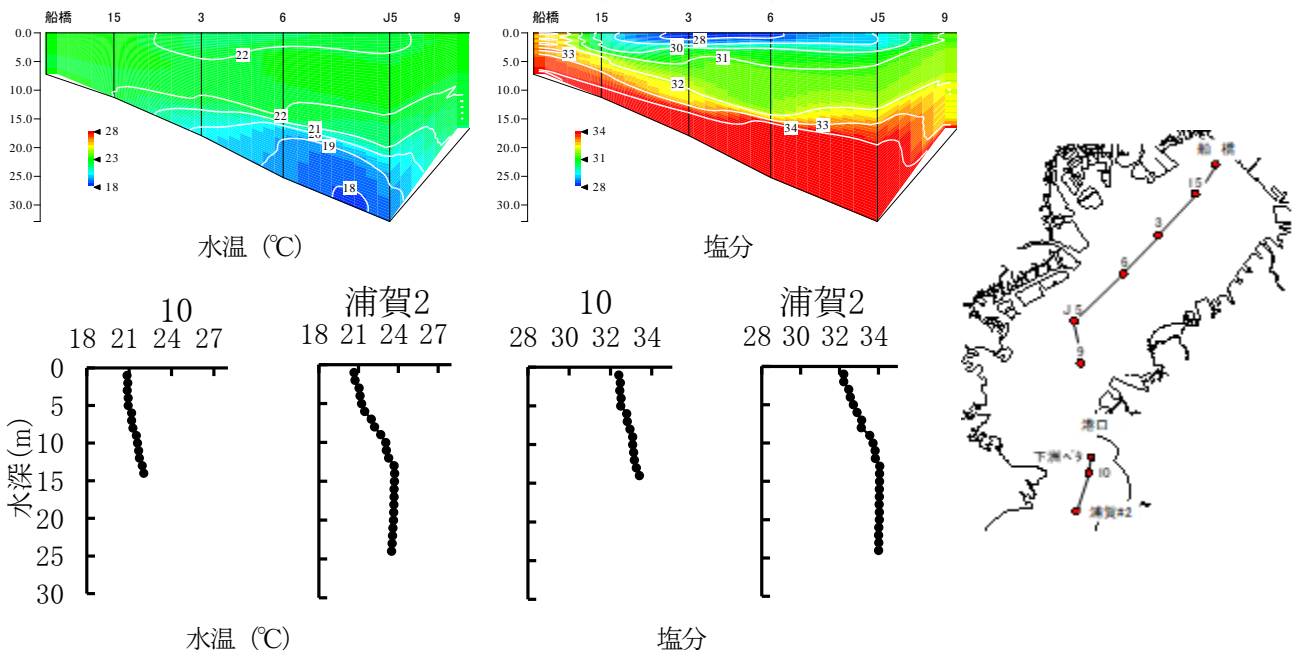


図2 縦断面の水温・塩分の鉛直分布 (上: 内湾, 下: 内房北部, 右: 調査ライン)

【 赤潮・栄養塩の状況 】

- ・ 赤潮は確認されず、内湾におけるプランクトンの優占種は、珪藻スケルトネマ属などでした。透明度は2.7～4.5 m でした。
- ・ 栄養塩は窒素が内湾北部で322～478 $\mu\text{g/L}$ 、盤洲周辺が291～317 $\mu\text{g/L}$ 、富津周辺が148～285 $\mu\text{g/L}$ 、リンが内湾北部で42～47 $\mu\text{g/L}$ 、盤洲周辺が35～40 $\mu\text{g/L}$ 、富津周辺が17～32 $\mu\text{g/L}$ でした(図3)。
- ・ ノリ漁場の栄養塩は、内湾北部、盤洲周辺、富津周辺のいずれにおいても、高色調のノリの生産に必要なレベルを上回っていました。

東京湾の赤潮の基準：酸素飽和度 150%以上，透明度 1.5 m 以下，pH8.5 以上
 高色調のノリの生産に必要なレベル： 窒素 110 $\mu\text{g/L}$ リン 8 $\mu\text{g/L}$
 ノリの色調の保持や健全な生育に必要なレベル：窒素 90 $\mu\text{g/L}$ リン 5 $\mu\text{g/L}$

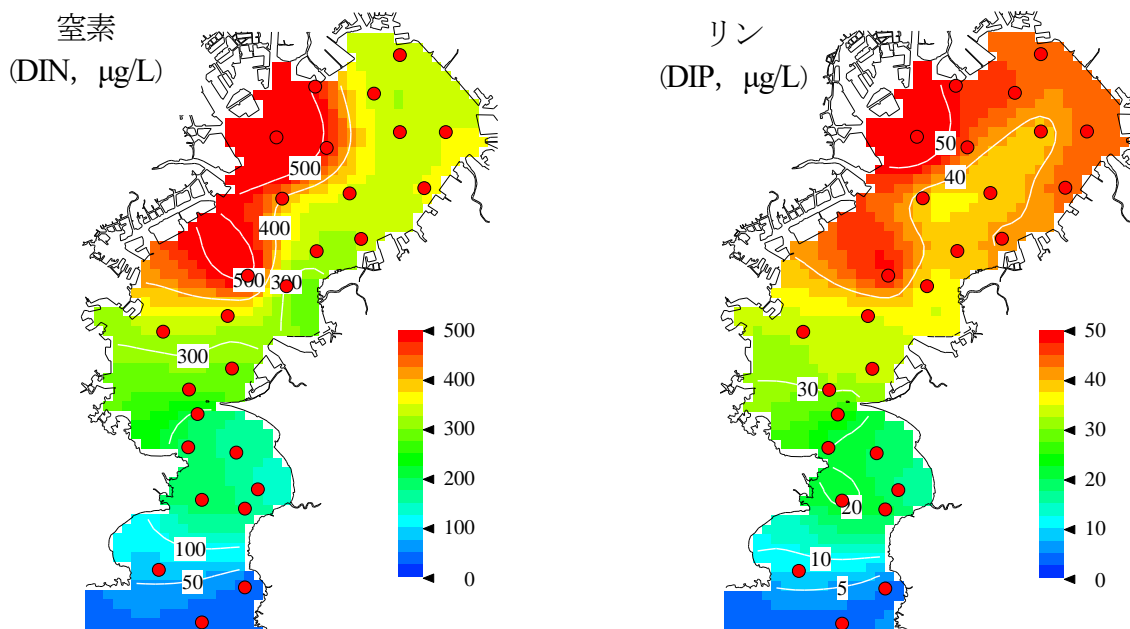


図3 表層の栄養塩濃度の分布

ノリ養殖場水温予報のお知らせ

今年も、各ノリ養殖場(三番瀬、盤洲北部、盤洲南部、富津岬北、富津岬南)について、5日先まで表層水温を予報します。千葉県水産総合研究センターのHP、もしくは右のQRコードからご覧ください。



東京湾漁業・環境情報提供システム

最新の東京湾の環境情報、赤潮発生の目安(人工衛星画像)、各地の水温変化(モニタリングポスト)、沖合水の侵入の目安(潮位)、水温変化の目安(表層水温、底層水温分布)などを表示しています。千葉県水産総合研究センターのHP、もしくは右のQRコードからご覧ください。



パソコン：http://www.pref.chiba.lg.jp/pbcbsuishi/cbtk/04tk-yohou/main_frame.html

携帯：http://www.pref.chiba.lg.jp/pbcbsuishi/cbtk/04tk-yohou/mobile_forecast.html